

議会だより

No.68
2012.5.1

さとしょう



岡山県 里庄町議会



| | |
|--------------------------------|------|
| ● 平成24年度 当初予算 | (2) |
| ● 主要事業 | (4) |
| ● 平成23年度 一般会計補正予算 再上程後可決 | (13) |
| ● 町政を問う (7人が登壇) | (15) |
| ● 新シリーズ “地域の子どもたち” | (22) |

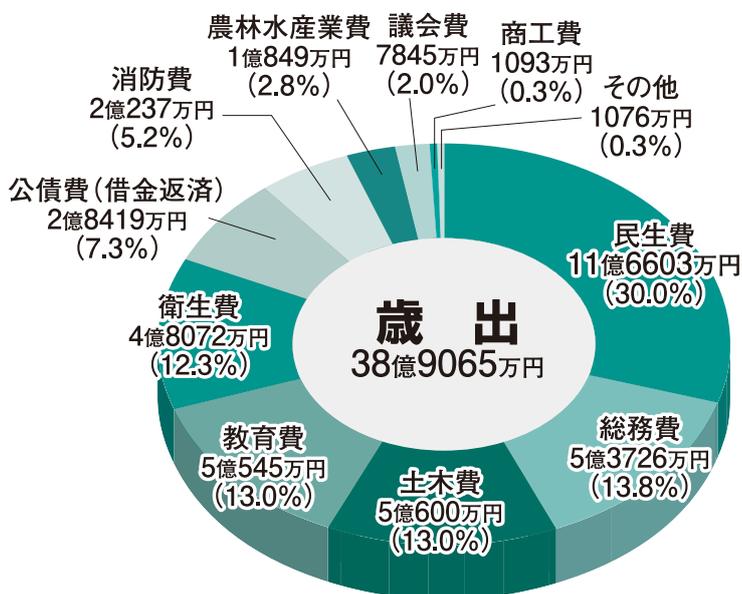
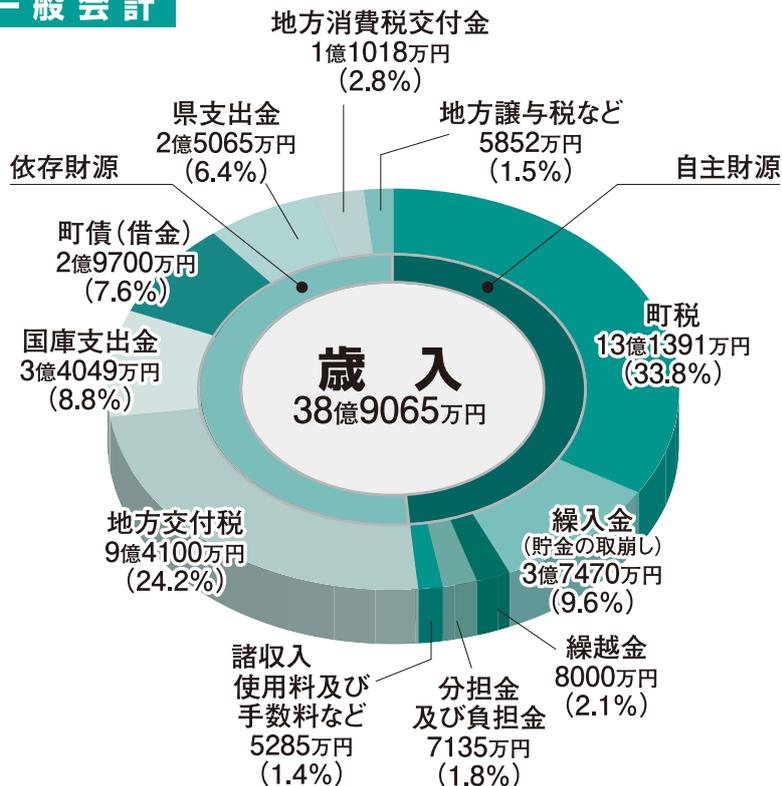
定例会

で成立!

(2983万円増)

賛成 5 : 3 反対

一般会計



平成24年第2回里庄町議会定例会は、3月2日から3月16日までの会期で開かれました。議案は、平成24年度当初予算8件、平成23年度補正予算9件、条例の制定3件、一部改正4件、廃止1件、町道路線の廃止2件、人事案件2件、他2件が上程されました。上程された31件のうち、補正予算1件、条例の廃止1件は取り下げられ、否決された一般会計補正予算は、修正後再上程され、可決しました。そのほかの議案は原案どおり可決承認しました。なお、一般質問では7人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

24年度

一般会計当初予算

38億9065万円

特別会計総額は39億1067万円(全会一致)



厳しい財政状況は続く！

歳入に見合ったサービスの提供を

- ◆ 小児医療費を中学校3年まで無料に延長
- ◆ 229号線は今年度末完成 ◆ 町営墓地は今年度建設工事着手

24年度 当初予算

| 会計名 | 金額 |
|------------|-----------|
| 一般会計 | 38億9065万円 |
| 国民健康保険特別 | 11億2176万円 |
| 育英奨学資金給与特別 | 22万円 |
| 介護老人保健施設特別 | 3億9090万円 |
| 介護保険特別 | 8億8585万円 |
| 後期高齢者医療特別 | 1億2728万円 |
| 水道事業会計 | 4億7620万円 |
| 公共下水道事業会計 | 9億849万円 |

町の借金と貯金

借金(元金)返済額 3億5769万円

借金(地方債)借入額 6億660万円

借金(起債)残高(24年度) 71億2864万円
(元利償還金のうち $\frac{1}{2}$ は地方交付税に算入される)

貯金(基金)(24年度) 30億205万円

主要事業

小児医療費

4704万円

0歳児から小学校6年生までだった対象要件を、中学校3年生終期までに拡充して助成します。

住宅用太陽光発電システム設置費助成

700万円

住宅用太陽光発電システム設置費のうち、1kw当たり5万円、上限20万円を助成します。

各種予防接種に

3914万円

感染症の早期発見や予防を行うため、各種予防接種を実施します。

公共下水道の整備

5億9086万円

第3期認可区域の公共下水道の整備を進めます。今年度は、新庄地区、川南の国道南側、里見地区の国道沿いを整備する予定です。

電気自動車の購入

409万円

低公害車の導入を促進し、町民への啓発や環境学習の機会の提供を図るため、電気自動車を購入します。

町営墓地の整備

1億6037万円

墓地に対する需要から、平成22年度より町営墓地の整備を進めています。平成25年度の完成を目指し、今年度から本體工事に着手します。

自主防災組織へ

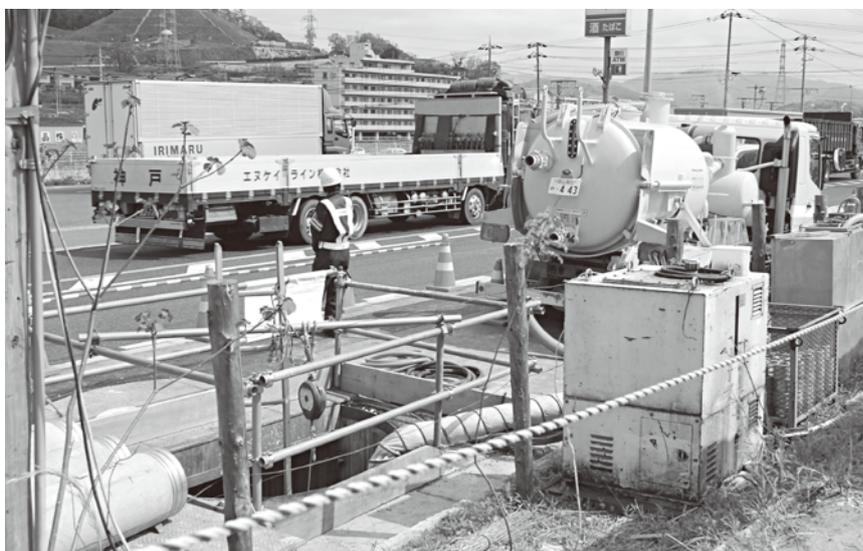
50万円 助成

各地区単位での積極的な自主防災組織の設立や活動を支援するため、必要な資機材購入費の一部を助成します。

地域防災計画の

483万円 見直し

国の防災基本計画、県の地域防災計画の見直しに伴い、町の地域防災計画を見直します。



下水道工事（平井地区）

町条例

固定資産税第1期納期の延期

平成24年度は固定資産評価替えの基準年度ため、第1期の納期を一カ月延期します。

男女共同参画推進条例の制定

男女共同参画のまちづくりを推進していくことを目的に、制定しました。

非常勤宿直員の報酬制度の創設

職員による宿直に替え、一般職非常勤の宿直員の制度を創設しました。

スポーツ推進員に名称変更

「体育指導員」から「スポーツ推進員」に名称を変更しました。

介護保険料の見直し

平成24年度から26年度までの保険料を2・6%引き上げます。

医療費無料化の年齢引き上げ

中学校3年生の終期までに引き上げました。

遺児への激励金支給対象の拡大

生活保護世帯又はそれに準ずる世帯に限っていた要件を削除し、激励金の支給対象を拡大しました。

（すべて全会一致で可決）

ここが反対!

空中散布防除は止めるべき

高田卓司議員

- ①町税等滞納者に行政サービス提供を一部制限すべき。
- ②住宅開発に伴う河川管理道の条例をつくれ。
- ③学校運動場内の民地を、なぜ買わないのか。
- ④町営墓地価格は民間の墓地に比べ高い。
- ⑤松くい虫の空中散布防除は、止めるべき。

債務保証の白紙委任はしてはならない

仁科英磨議員

- ①土地開発公社に対する5000万円の債務保証の白紙委任。
- ②町営墓地は再アンケートが必要。
- ③電気自動車を直ちに購入する必要はない。
- ④川南住宅団地の排水ポンプは寄附を受けるべきでなく、電気代は地元団地で負担すべき

議員発議が計上されていない

岡本雅道議員

- ①議員発議「小・中学校の空調設備設置を求める」案件の予算が計上されていない。
- ②電気自動車購入は税金の無駄遣い。
- ③墓地建設は、当初の計画どおり(売値10万円/㎡)に見直せ。
- ④中学生海外派遣事業は、ご褒美観光旅行。
- ⑤松くい虫防除は、中止し、安全性の確認を。

ここが賛成!

住民ニーズに応じた施策である

小野光三議員

- ①小児医療費の対象を中学生まで拡充した。
- ②高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種費を助成する。
- ③子育てしやすい環境づくりに配慮している。
- ④教育環境の整備を行っている。
- ⑤地域防災計画の見直し。
- ⑥自主防災組織の設立を促進している。

生活支援員の配置・拡充

2276万円

安心して学習し、学校生活が送れるよう、今年度は2名を増員します。中学校へ1名
東・西小学校へ15名
東・西幼稚園へ3名

英語学習環境充実

1559万円

英語教育と国際理解教育の充実を図るため、中学校、東・西小学校に英語指導外国人を配置します。

町道の整備

1億300万円

町道里見229号線第3工区は、今年度の完成予定です。事業費は6000万円です。
その他、町内各所で道路拡幅や交差点改良など、生活道路の整備も進めます。

男女共同参画

基本計画を策定

282万円

平成20年度に策定した基本計画の推進期間が終了するため、平成25年度からの計画を策定します。

育英奨学資金を廃止

この議案は、撤回されました。

その他

浅口市へ下水道を接続するとの協議

モーターボート競争の施行

(全会一致で可決)

質 疑

▼ 薬剤空中散布は止めるべき

▼ 学校空調設備費が予算案に入っていない

一般会計当初予算について5人、条例の制定・改正について5人、道路線の廃止について3人が質疑を行いました。

平成24年度予算総括

薬剤空中散布は止めるべき

高田議員 土地開発公社への債務保証額は、どのような算出方法か。

農林建設課長 債務保証5000万円は、岩村から浅口市の深田方面へ抜ける町道の拡幅計画などを想定し、用地費、補償費を含めて概算金額で計上するもの。

高田議員 町営墓地の建設は難しい工事ではない。設計監理業務を県の開発

公社に頼む必要はない。

町民課長 工事費と設計監理費の3割を債務負担行為で計上している。

理事 業者の選定は当町で行う。安い委託料でグレードの高い工事ができるものと確信する。

高田議員 松くい虫防除の薬剤空中散布で、昆虫や小鳥がいなくなった。

農業では10000〜20000倍で使うスミチオ

ンを5〜6倍で散布している。健康被害や飲料水に出だしたら終りだ。

見直す時期に来ている。

農林建設課参事 国の指針にそって行っており、小動物等への影響が出たという目撃、通報はない。

散布区域の井戸水検査で、スミチオンの成分が出たことはない。

効果ははっきり出ており、続けていきたい。止めると、松は1〜2年で全部枯れる。

大学教授等に問い合わせてみたい。



薬剤搭載後フライト

- 高田議員 その他の質疑
- セカンドライフ応援交流会
- 定ポイントカメラの設置場所と効果
- 行政番組の制作委託料
- 警備保障の委託箇所と委託内容

セカンドライフ交流会 世代を広げては

岡村議員 セカンドライフ交流会での、各種団体の紹介や研修会、講演会など、いい企画だとは思いますが、もう少し濃い内容で、対象者も還暦を迎えた人を中心に世代を広げてはどうか。

岡村議員 電気自動車購入費はかなり高額。軽四バンの3倍以上の値段。普通の車でよい。

町民課長 電気自動車の普及促進、地球環境への負荷の低減。町民の方に環境意識の啓発。

企画商工課長 今のところ、還暦を迎えた人で、毎年継続していく。また、講演会や交流会

マコモタケの支援は

平野議員 マコモタケ生産部に支援をしているのか。

農林建設課参事 担い手支援協議会に運営補助金の50万円。

農林建設課長 開発業者と協議し、街灯やゴミステーション、ガードレール等を設置してもらっており、ポンプも含めて維持管理は町が行う。

平野議員 川南開発地区

小・中学校の空調設備の設置が 予算案に入っていないのは何故か

岡本議員 昨年、小・中学校に空調設備の設置を

求める議員発議が可決されているが、この予算案に反映されていないのはなぜか。

教育長 体温調節機能が

うまく働くように成長期の子供の体づくりをすることが大切。財政状況も勘案し、扇風機で対応。

岡本議員 町営墓地は、

売れ残らないような造り方を考えるべき。また、特別会計を設けるべき。

町民課長 基本計画は、

潜在的需要も含む10年の需要予測から、三百区画を10年間でと考えている。

募集・販売の段階で特別会計を設けたい。

岡本議員 中学生の海外

派遣は、ご褒美ヨーロッパ

質疑

パ派遣ツアーになっており、納得できない。

教育長 仁科先生に続く

ような人になって欲しいという願いと、外国の文化や習慣などを学ぶという目的で実施。

町長 皆さんと話し合

って検討したい。

岡本議員 仁科生家駐車

場用地の購入は、無駄な買い物にならないか。

町長 売りに出たこの

機会に買収し、一体的にすばらしい環境、景観を保たせたい。

岡本議員 その他の質疑

・マコモタケの将来ビジョン

・電気自動車購入は疑問

予算編成の基本方針等

仁科議員 当町の留保財

源はいくらで、どこに使われているか。目的別、性質別配分、財政硬化化対策は。

総務課長 経常的経費に

必要な一般財源は、前年当初以下に抑える、事務事業の見直しを図る等を基本とした。

事業への割り振りは、

行っていない。

仁科議員 24年度の給与

改定はどう考えているか。嘱託職員は何人いて、

総所要額は幾らか。

臨時職員は、制度上6カ月で、再雇用も一度できるだけ。

町では、どのように考

えて、今のようやり方

をしているのか。

町長 今後見極めた上

で方針を出したい。実際は嘱託職員ではなく、臨時職員だ。

臨時職員も生活がかか

っている。法律に違反しない範囲で対応できないかと、苦慮している。

総務課長 22名、580

9万円の予算。

仁科議員 文化ホールチ

ケット売上代が、昨年は270万円、今回は30万円と激減した理由は。

教委事務局長 昨年はす

べて有料で販売したが、今年は高校生以下は無料としたため。

仁科議員 里庄の農業は

マコモタケだけではない。桃、柿、野菜、大豆など、いろんなものをつくっている。農協と一緒にやっていくべき。

今後のあるべき姿をど

のように考えているか。

農林建設課参事 行政は

農協への提案や取り組み

の支援を行うしかない。

生産者、農業委員等を

交えて、農協で合同の協議を行いたい。

仁科議員 町営墓地工事

費の中の諸経費5200万円はどういうものか。この中には、県の土地

開発公社に払うものも含まれているのか。

理事 共通仮設費、現場管理費、一般管理費等。県の土地開発公社に支払うものは含まない。

仁科議員 その他の質問

・予算成立前の事業執行の考え方

・知事選挙は全額県費で

・保育所法外援助費の減少理由は

・本町の英語指導助手

・コミュニティー広場の修繕費

など



元気に登校(東小学校)

建設福祉委員会は否決

総務文教委員会に付託された当初予算関係7議案は、建設福祉委員会の協力のもと、関係当局から説明を聴取し、慎重に審議を行ないました。

その結果、一般会計予算については、建設福祉委員会では賛成少数で否決し、総務文教委員会では賛成多数で可決しました。

また、特別会計及び事業会計は、全会一致で可決しました。

一般職非常勤宿直員の報酬、勤務条件等に関する条例の制定

セキュリティの問題は

岡本議員 一般職の非常勤宿直員を7月から置くように計画しているが、安全とセキュリティの問題はどうなっているのか。

総務課長 役場は、個人

情報を始めさまざまな情報を保有しているが、厳重に管理している。庁舎全体のセキュリティは、警備保障に委託しており、問題ないと考えている。

経費はいくら増えるか

仁科議員 今までの職員による宿直手当に比べ、宿直員の報酬は、年間でいくら増えるか。

募集採用は公募で。単なる守衛にならないよう、研修などもきちんと行い、住民サービス、セキュリティに万全を期すべき。

総務課長 宿直員の場合、年間584万円必要で、約241万円増える。公募する。

研修、マニュアルの作成などを行い、正規職員と変わらない業務の質を確保する。

任用の選考方法は

高田議員 任用の選考方法はどのように考えているのか。

退職者を再任用する考えがあるのか。

知り得た情報を漏らした場合は、どうするのか。セキュリティや個人情報等に支障はないか。

町長 履歴書によって書類審査をし、面接する。

退職者の再任用は考えている。

守秘義務に違反した場合、一般の職員と同じような対応を考えている。発生する責任については、法律的な対応を考える。

ここが賛成！

プラス予算以上のメリットを

平野敏弘議員

宿直員制度を設けることは、昨年12月の職員アンケートでの結果。

予算が、プラスになる241万円以上のメリットを出してもらうことを要望したうえで賛成。



恒例の高齢者観桜会



町民課窓口

里庄町男女共同参画推進条例の制定

この条例案は審議委員を交えて作られたか

岡村議員 この条例案は、男女共同参画基本計画を立てるときの審議委員を交えて作ったか。今後、里庄町に合った厚みのある条例を再度検討して欲しい。

企画商工課長 委員の意見は聞いていない。24年度中に25年から5年間の基本計画を策定する。その時点で、細かく実施する内容、具体的な取り組みは考えたい。

里庄町乳幼児等医療費給付に関する条例の一部改正

中学生の所要額はいくらか

仁科議員 中学生の増額はいくらか。いつから、施行するのか。

健康福祉課長 3学年で年間600万円を見込んでいる。平成24年4月1日から施行する。

「小児医療給付」など、しっかりした響きのある表現に

辻田議員 この事業の題目を、小児医療給付など、しっかりとした響きのある表現にして欲しい。

健康福祉課長 「乳幼児等医療費給付制度」を「小児医療費給付制度」に変更する。

浅口市へ下水道を接続することの協議

高岡、屋中地区の下水道の接続はどうする

仁科議員 高岡、屋中地区には既に浅口市の幹線が入っている。新たに幹線をつなぐと無駄になる。実際に、つくる時は枝線をつける方法がよい。

上下水道課長 現実には最寄りの管渠にそれぞれ接続する。

管渠かんきよの増設が必要な部分は

高田議員 管渠の増設とあるが、どの部分の増設が必要なのか。

上下水道課長 現実には管渠の増設の必要はない。

傍聴に来ませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議事事務局までお問合せください。

町道路線の廃止

建設福祉委員会で審議

町道路線の廃止関係2議案は、建設福祉委員会に付託され、同委員会は現地視察を行うとともに、慎重に審議しました。その結果、新庄95号線の廃道については、賛成多数で認定しました。また、新庄327号線の廃道については、廃道後の払い下げ価格は適正に行なうとの回答を受けて、全会一致で認定しました。



町道 327号線廃道予定地

新庄95号線の廃止

1つの道路は1つの路線名に

平野議員 字界にある1つの道路に2つの路線名がついているのは、解かりにくく、効率も悪い。

農林建設課長 そうする。他にもあれば、1つの路線名にすべき。

廃道後はどうなる

高田議員 東北角の民家の間の部分は、廃道後はどうなるのか。町有地として残すのか。

農林建設課長 現在払い下げの話をしているが、出入り口として残しておいた方がいいという意見もあり、柔軟に対応する。廃道後残れば、普通財産。

進上路として残すことに法的問題はないか

岡本議員 造成する駐車場は229号線関係の地権者に代替地として渡す予定と聞いた。

そこへの進上路を町有地で残すことは問題だと思ふ。個人のためにそれを残すことに、法的な問題は無いのか。

農林建設課長 代替地は229号線から入れる道路を造るので、これは、残り部分の駐車場や図書館への近道という補助的な通路となる。幅は1mほど。

ここが反対!

急いで廃道にする理由が薄弱

仁科英磨議員

この道路線の廃止は、町道229号線の用地買収を進める中で、この際廃道処分にした方が良いという考えで、提案されたもの。

今ここで急いで廃道しなければならない理由が極めて薄弱。いま一つ納得できない。

補正

▼ 駐車場整備1000万円を800万円に
▼ 育英奨学資金制度は存続

一般会計補正予算の初日上程案は、賛成3、反対5で否決し、修正後再上程案を、賛成5、反対3で可決しました。

質疑

代替地の理念から外れている

一般会計(初日上程)
(繰越明許費)
図書館東駐車場 整備事業
1000万円

岡本議員 図書館東駐車場整備費1000万円の繰越し理由。

229号線買収地(A)、交換土地(B)代替地として買収した土地(C)の面積、価格、土地評価額、Cの造成費、造成後の評価額について問う。

岡本議員 図書館東駐車場を造成する必要性は無い。

Cは代替地Bの代替地として譲った後、また駐車場として借り受けるのか。

代替地は農地と農地、または等価交換が基本。造成費は上乘せずべき。

農林建設課長 繰越し理由は、229号線工事の遅れ。

Aは、単価2万4200円/m²(今までの229号線用地の単価)で購入

入、三者契約という形で、代替地Bを提供。C(650m²)は平成22年度に9075円/m²(町の道路事業の田んぼの単価)で購入

入、Bの代替地として同単価で譲る予定。

町長 Aを買収しないと229号ができないことから始まり、町有地があるからそれも並行して利用できる形にしたいということになった結果だ。

Bを出してくれた人は、畑のような形で、同じ値段で、同じ面積を買い取るということだ。

平野議員 代替地に1000万円もかけて駐車場にする必要はないのでは。

町長 地上げした状態で譲るということでまっています。

1000万円かける必要はない

町長 地上げした状態で譲るということでまっています。

町長 地上げした状態で譲るということでまっています。



町道 229号線代替地



代替地付近

岡本議員 その他の質問
・ 道路橋梁費の繰越し理由
・ 西小学校の給食用冷蔵庫が38%も安く入札できた理由

1000万円かける必要はない

平野議員 代替地に1000万円もかけて駐車場にする必要はないのでは。
町長 地上げした状態で譲るということでまっています。

報償費の減額はなぜか

高田議員 町税徴収嘱託員の報償費が減額になっている。なぜか。

町民課参事 嘱託員が辞めたためと、嘱託員で対応し切れないものは、市町村納税整理組合や岡山県滞納整理推進機構に引き継ぎ、委託等を行ったため。

高田議員 その他の質問
・寄付金はどこからのどのようなものか
・開発基金の積立と理由
・文化ホール空調機部分改修費の減額理由
など

嘱託員の努力に報いるべき

仁科議員 徴収率を上げるため、嘱託員の努力が一層報われるよう考えては。

町民課参事 検討したい。

仁科議員 特別交付税は最終いくらになる見込みか。

総務課長 これから入る額は3月末頃で、未定。

仁科議員 開発基金の積立で、取り崩しのルールは。
副町長 その事業が確定したことで取り崩し、別に繰り入れをしている。
総務課長 ルールは、精査し、検討したい。

仁科議員 人件費について、国は今年度の人事院

ここが反対!

育英奨学資金制度は残せ

高田卓司議員

229号線の用地確保のために、破格の値段で買い、替え地の替え地の農地は造成工事して提供すること。

育英奨学資金制度は残すべき。

代替地の造成等に問題

岡本雅道議員

229号線の代替地の面積が2倍以上に広がり、代替地の代替地は造成まで行なう。

必要もない駐車場をつくる。税金は必要などところへ使ってほしい。

勧告どおり0・23%引き下げる、また、24年4月から2年間それも含めて7・8%引き下げると決めたが、当町はどうするのか。

引き下げた場合、財源はどれくらい浮くのか。
総務課長 町は、国、県、近隣市町より低い現状であり、今回の引き下げは見送った。
引き下げた場合、約152万円の減額となる。

仁科議員 その他の質問
・留保財源の計算式と当町の額
・児童援護費は大幅に減少しているのに一般財源の所要額が増える理由
・町営墓地諸経費の使用状況
など

育英奨学資金給与特別会計

廃止について承諾を得たか

岡本議員 篤志家の方、寄附をされた方の承諾を得たか。

教委事務局長 篤志家の方には、資金が少なくなってきた今の状況と、町の考えを一応説明した。

奨学資金制度は残しておいて

平野議員 議員の中には、廃止反対の意見が多い。町の奨学資金制度は残しておいて、経済的に困った生徒が出てきたときに再開すべき。

町長 財源がないことや、高校の無償化で、廃止の方向で考えていた。議員の意見に従う。

初日上程(会計廃止案)……………撤回

最終日上程(会計存続案)……………全会一致で可決

一般会計

初日上程……………否決!
 ↓
 最終日上程(修正案) 可決!

賛成 反対
3:5
 賛成 反対
5:3

ここが反対!

裁量権を振りかざし強行

岡本雅道議員

代替の基本は等価交換。代替の基本理念に違反する。工事の一部を削除しただけの再提出議案が可決されるはずがない。

町長が裁量権を振りかざし、強行に執行することを認めることはできない。

替地は等価等積が原則

高田卓司議員

かつて町が用地確保をする場合、替え地の替え地を段取りした例がない。

替え地は等価等積が原則であり、違う場合は、差額を負担してもらうのが当たり前。

舗装部分の200万円が減っただけで、当初の計画通り造成を行う。

一般会計(再上程)

主な修正内容

図書館東駐車場整備
 1000万円を
 800万円に
 育英奨学金制度は存続
 繰入金22万円が0円

代替地の形状は今のまま

岡本議員

図書館東駐車場整備事業で、代替地の形状の変更を求めたが、どう変わったか。工事費の200万円減額理由は。

農林建設課長 地権者に再度協力をお願いしたが、変更は難しい。アスファルト舗装を砕

石舗装に変えて行う。農地に必要最低限度の土を盛り、水路を設置する。

町長 駐車場とはしない。畑とするため、盛り土だけ行う。

地権者から形状変更はできないと言われた。

事業名を「替え地の整備」に変えては

高田議員

駐車場としな
 いなら、「替え地の整備」
 に書き変えたらどうか。

町長 気がつかなかった。

3月補正の結果

| 会計名 | 補正後の金額 (補正額) |
|------------|---------------------|
| 一般会計 | 40億6930万円 (△9432万円) |
| 国民健康保険特別 | 11億9069万円 (△2887万円) |
| 介護老人保健施設特別 | 4億1435万円 (6万円) |
| 介護保険特別 | 9億934万円 (476万円) |
| 後期高齢者医療特別 | 1億2438万円 (△359万円) |
| 水道事業会計 | 3億8502万円 (△2065万円) |
| 公共下水道事業会計 | 7億7943万円 (△3039万円) |

臨時会

1月27日に、里庄町議会臨時会が開かれました。里庄町営有料駐車場条例、一般会計補正予算、及び特別委員会設置の発議が上程され、いずれも全会一致で原案どおり可決しました。また、特別委員会の委員長、副委員長を選任しました。

町営駐車場の

使用料の値下げ等

東小の特別支援学級の教室備品 60万円
ほか3件

駅前駐車場の定期駐車枠を廃止し全て一時枠にしました。駅裏東1駐車場の使用料を減額し、次のとおりとしました。

一時駐車(1日) 100円
定期駐車(1カ月) より、地元が行ってきた

(町内) 1000円
(町外) 2000円

消防機庫の新築・改修は町が行う

一般会計の追加補正

消防団第9部の消防機庫改修工事費 140万円

今後は、全て町費の負担により、町が行うことに改められました。

町長等から、過去に町民

が負担した所との格差については、議員、消防団や分

館等とも協議し、皆が納得できるような方法で対応する、今後消防機庫の整備計画を立てるとの説明がありました。

仁科議員は、駐車場の収支状況と管理体制の改善策、消防機庫の今後の整備方針と消防に対する町長の決意について、高田議員は、県の誤った指導等に対する町長の対応の仕方、過去とこれからの格差への仕方について、質疑を行いました。

また、仁科議員は、消防機庫整備について、慣行を今回から改めることに対する賛成討論を行いました。

里見川荘調査検討

特別委員会の設置

里見川荘は、設立以来19年余りが経過していますが、現在の委託方式では今後は許可されないこととなり、次回更新時の26年3月までに見直しが必要となつていきます。

そのため、議員全員によつて構成する委員会を設置し、調査検討することを決めました。

里見川荘調査検討

特別委員会

委員長 辻田勝之議員
副委員長 高田卓司議員

2月の第1回委員会で、1年で結論を得ることを目指すことにしました。

人事

人権擁護委員

里庄町大字新庄
グリーンクレスト 25番地2
寺前 恭子

教育委員会委員

小田郡矢掛町小田 4709番地
杉本 秀樹

(全会一致で同意)

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

総務課を総合窓口として対応する。研修機会があれば参加したい。

支援金制度を設けては

総務課長／今後の検討課題としたい

犯罪被害者等支援の窓口はどこか

総務課長／総務課に設置している



小野 光三 議員

問

2005年に施行された犯罪被害者等基本法に基づき、全国的に制度の整備が進んでいる。

地方自治体においても、相談、情報提供や地域住民の理解促進を推進することなどが盛り込まれた。本町は昨年9月に施行して、約半年が経った。

犯罪被害者が直面しているさまざまな問題について、必要な情報の提供や助言を行うための窓口を設置するとしているが、本町はどこに設置しているのか。

また、これまでに犯罪被害者の対応にあたったことはあるか。

被害者にとって一番身近な自治体である町が、

実情に沿った対応をすることが大切だと考える。そのため、これから窓口の職員の研修などを実施していくか。

総務課長 総務課に設置している。

条例制定後から現在まで、相談に来た方は無く、対応にあたったことも無い。

本町としては、県、警察、民間団体等の関係機関と協力し各種支援を行うというところで体制を構築している。担当の職員は今のところ置いていない。

問

支援金など、独自の条例を打ち出す市町村もある。

犯罪の被害に遭われた人たちは経済的に困窮しているというのが実情である。

本町も経済的に支援するための支援金を支給したらどうか。

総務課長

また、被害者の声を聞く機会を設けて欲しい。現在、県内の4市町村が支援金制度を設けている。

本町は、現段階で支援金を支給することは考えていない。

案件によっては支援金

を支給することが必要と判断される場合もあるかも知れない。

今後の検討課題とする。条例制定後まだ期間が短い。まず条例が制定されたことや、総合窓口が総務課に設置されていること等を、周知していく。

二元代表制について、町長の考えは

町長／議論を尽くしていい形で作り上げたい

問

首長と議会は、独立、対等の関係に立ち、説明や情報提供だけでなく、互いに議論し、案を出し合って、協議できる政策を作り上げていくべき。

現状では、町長が計画立案した施策を執行するために議会の承認を求めているだけ。
独裁政治になっている。二元代表制についての町長の考えを問う。

総務課長

首長は政策を提案し、議会は、議決権を行使する。役割分担の下、牽制と調和により、公正な町政の運営がされている。

町長

重要なことは、議会の前に、全員協議会で、情報を出し議論してもらっている。議論を尽くし、いい形で物事をつくり上げたい。

昭和池遺跡からの出土品



埋蔵文化財の宝蔵地の周知徹底を

教委事務局長/周知を図り、保護に努める



岡本 雅道 議員

問

埋蔵文化財宝蔵地を発掘するとき、文化庁への届け出が必要。

町内約90カ所の周知徹底を図るべき。
過去に発掘されたものの取り扱いはいは。

教委事務局長

岡山県遺跡地図や県庁ホームページ内の地図情報に、表示されている。

不動産業者は、市町村教委で事前確認をしなければならぬ。
周知に努めたい。

ここ数年間で町内7カ所の調査を行っており、堂迫遺跡（不動院駐車場用地）からは、弥生土器、瓦が出土し、歴史民俗資料館に保管。

河川の安全確保と中川に管理道の確保を

農林建設課長/安全性は確保されている

問

河川の安全確保と管理が一向に改善されない。
川南地区の住宅開発および玉笠バイパスとの関連で、干瓜川・新庄川の安全確保の問題を問う。

中川の管理道の確保がまだにできていない。条例が必要。今災害が起きたら、町長はどのように責任をとるのか。

農林建設課長

県の計画では、安全性は確保されている。川南地区開発の影響は、ほとんどない。条例の制定は、無理がある。

町長

管理道の必要性は認識。しかし、業者が土地を譲ってくれないとできない。作業道がないところは、町が業者を入れて処理する。

その他の質問

Q 笠岡放送の利用料減免は。

A 民生委員には対象者の再確認をお願いしたい。

A 本町は、ホームページで広報。一層の広報に努める。

平野 敏弘 議員



現事務長を現職にとどめておくように

町長／総合的な判断をした

問

2月13日に里見川荘調査特別委員会を開催した。

委員長から町長へ直接特別委員会が存続している間は、現事務長を現職にとどめておくよう要望した。人事案件なので要望を拒否したとのこと。事実か。

運営方法は、直営か指定管理者か他の方式であるのか、議会でも検討している。

町民は萌生会へ委託するのではないかと心配と不安を持っている。

利用者のことを第1に考え、直営で運営するのが最善であると考えているが。

町長

要望は、拒否したわけではなく、尊重はする。人事は公正に行わなければならない。総合的判断なので理解して欲しい。

今の運営方法が医療法に反すると、県から指導を受けている。

先々のことを考えると、直営では無理と判断している。

萌生会しか相手がないというのではなく、他の病院等も視野に入れた中で募集はするが、現実的には選択肢はほとんどそれしかないと考えている。

問

職員アンケートを実施しているが、どのような意見があったのか。

毎年1回は実施してはどうか。

町長

意見として、宿日直を外部委託

職員アンケートでの意見は

町長／宿日直を外部委託等があった

軌道に乗るまでは補助金を出しては

町長／検討したい

問

マコモタケの特産化を目指して町が推進している。

生産者も、ほとんど自己負担で、またボランテア的なことではしている。出荷するにも、最低限の利益を確保しなければ

続かない。赤字になれば生産者もやめるのではないか。

町も、軌道に乗るまでは、作付面積や出荷量に応じて補助金を出してはどうか。また、定期的に町と生

町長

直接補助金を出すのは難しいが、協議することはやぶさかではない。



マコモタケ収穫最盛期(10月)

その他の質問

Q 施設利用の申し込みを一元化したらどうか。

A 運動公園は管理者が常駐して管理している。

セカンドライフ応援交流会の手応えは

企画商工課長／これからの生き方を考える
きっかけになった



岡村咲津紀 議員

問

セカンドライフ
応援交流会が開
催された。当日の参加者
数は。また企画の段階で
どれくらい予算を組ん
だのか。

参加者は定年後の人生、
セカンドステージを踏み
出すヒントを習得したと
思うが、担当者として具

体的にどのような手ごた
えを感じたか。

元気な高齢者の増加に
よる地域の活性化、住民
パワーを生かした地域づ
くりを推進していくため、
行政として、ボランティア
アやまちづくり活動に参
画する人を、今後どのよ
うに増やしていくのか。

企画商工 課長

男性13名、女性
18名の計31名が
参加している。

予算は、交流会の食事
代として、100名分を
組んだ。

講演会の後は、文化協
会や各種ボランティアの
活動を紹介し、参加者は
それぞれ興味のある活動
内容を知ることができた。

これからの生き方を考
えるきっかけになったの
ではないか。

交流会の内容やPRに
今後も力を入れていく。
また、健康に関する内
容も取り入れ、60歳から
の健康維持のための情報
を知らせ、一層充実させ
参加者を増やしていきたい。



セカンドライフ講演会

学校給食に 地産地消の取り組みを

教育長/食材の確保や価格的に困難

問

町の幼・小・中
の給食は、自己
調理となっている。学校
給食に、地産地消の取り
組みが実現できないか。

現在、学校給食の米
や肉、魚、野菜などの主
な産地の割合は。

学校給食に、地域で採
れた作物を一部でも納入
できないか。

教育長

町では、食の安
全・安心の確保、
地場産物の活用等の観点

から、食材について目安
を設けている。

第1段階、里庄町、浅
口市、笠岡市などの周辺
市町産

第2段階、県内産
第3段階、国内産
第4段階、冷凍もの

このことを念頭に食材
を調達している。

地産地消の食材は価格
的に困難であり、町内に
野菜をつくっている農家
が少ないため入手できる
状態でない。



楽しいファミリー給食

仁科 英磨 議員



都市計画決定ルートの再検討を

農林建設課長／東西に結ぶ幹線道路が必要

問

町道229号線第3工区終了後は、

延伸工事の事業化を検討すると聞いた。将来の可能性も考慮し、都市計画のルートを再検討すべき。

反対の強いルートでなく、本村、湯ノ池のところが、岩村境界あたりを抜けて、メガネの三城へのルートが最良。

素案説明会、地元説明会、広聴会では、どのような意見があったのか。

また町の説明は、

家がかかるすべての人が、このことを知らない。

広報のあり方をどのように考えているか。

農林建設課長

出席者からは、中山峠大原中線

は廃止して欲しいという意見が多く出た。町としては町内を東西に結ぶ幹線道路は必要と回答。

住民へは、広報さとしてようやホームページ、笠岡放送で周知を図った。

今後は、一層努力する。

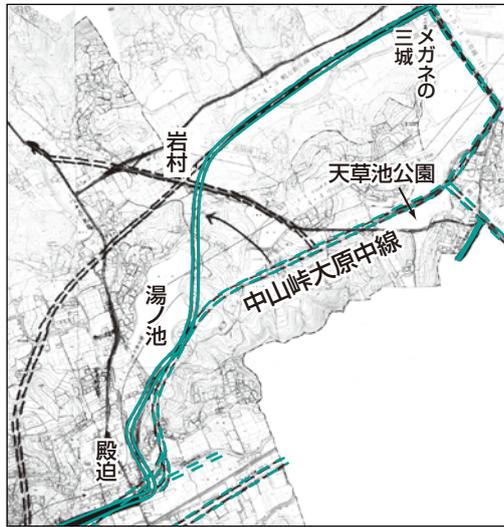
企画商工課長

広報紙は、できるだけ見やすい紙面づくりを考えている。今後も工夫していく。

町長

ルートの大筋は現状で考えているが、柔軟性は持たせて

いる。今後も工夫していく。



下水道事業は安く早く

上下水道課長／長期間も仕方ない

問

高岡、屋中は、平成27年からの

第4期計画で浅口市になぐことが合意された。笠岡市への接続に比べて、経費はどの程度高くなるのか。

手ノ際、松尾、岩村、津江の住民ニーズは、

これまでの事業費総額、将来負担も含めた一般財源の純粋持出し額は、幾らになっているか。今後の元利償還も入れ

ると、これまでの十一年間の持出しは25億円程度と考えるとよいのか。

第4期では、事業費の半減を考えるという。一部の地域は未整備という状態が長く続くのは不公平。補助制度や交付税の算入等も変わってくる。早くやるべき。

国交省が言っているクイックプロジェクトについて、里庄町も、専門家を入れてプロジェクトチームをつくり、徹底的に吟味すべき。

上下水道課長

面整備費は軽減できるが、汚水処理費の人口規模のメリツトは、笠岡市にある。

207円に対し63円。負担増は1世帯当りにならず、それほどの金額にはならない。

住民ニーズは把握していない。基本的には、単価の安い笠岡市側へ流したい。しかし、道路の中央が行政境界という場合は、協議し調整する。

その他の質問

Q 町営墓地は、もう一度アンケート調査をA 考えていない。

Q 役場前、茶屋橋交差点の信号を残すよう交渉するべき。A 最善の方法を検討。

Q 財産台帳は、合理的な行政推進の基本。A 早急に整備する。

奨学資金制度は残すべき

町長／継続する考えはない

問

里庄町育英奨学資金は、里庄町独自の奨学資金制度である。30年間のトータルで寄付は、数千万円に上ると思う。

寄附がなくなり、資金が底をつき、奨学金の特別会計や給与条例を廃止しようとする町長の考えを問う。

最近では、希望者が少なくなつたのか。給与条件を厳しくし、対象者を少なくしたのか。国からの交付金、ふるさと創生基金の一部を使い、奨学金制度は残すべきと考えるが。

教委事務局 長 昭和52年度に、特別会計を設け、また運営審議会を設置し

て奨学資金を給付してきた。

これまで、45年間に131名に給付している。

奨学資金は、正規の就学期間に支給され、返還の義務は免除している。

平成18年11月27日に、里庄町育英奨学資金運営計画会議を開催し、資金

がなくなる時点で、育英奨学資金の給付を終了する方針で、21年度高校生

学生まで募集を行い、それ以降は募集しないことにした。

22年度より、公立学校の授業料無償化や、私立高等学校などは、国による

就学支援金の給付制度が実施されている。

里庄町育英奨学資金制度は、財源が少なくなり、

継続をしていくことが困難な状況となり、23年度をもって廃止することにした。

今後、継続していく考えはない。

町長

原資をどこから出すかの研究、検討はしていない。

運営計画の中で、奨学生を決める対象等、厳しくしてはいるが、希望者が少なくなっている。

ふるさと創生基金の一部で、奨学金制度を維持するという考えはない。



高田 卓司 議員

町税の滞納対策に条例を

町長/条例は実効性がない

問

町税等の悪質な滞納者に対し、町財政の財源の確保を図るため、行政サービスを制限する条例を制定したかどうか。

町民課 参事 町税の滞納状況は、徐々に増加傾向にある。

市町村税を滞納し、かつ納税について著しく誠実性を欠く者には、差し押さえなどの滞納処分を

実施している。

サービス提供の見直しや、納税サービスの公平性の確保に努めていく。条例は研究したい。

町長

条例をつくり、行政サービスを制限するまでもなく、ある程度の制限はかかっている。

条例をつくってもそれほど実効性がないと思っている。



税務課窓口

辻田 勝之 議員



将来の施策の方向性は

町長／人口の増加が望めるまちづくり



下水道工事(大原地区)

問

町の振興計画に沿って施策が進められている。

これから5年、10年先の町長の思いや将来の方向性・方針を示してほしい。

町長

下水道事業は、事業量を半減する予定である。

災害に強いまちづくり

農林建設課長

生活道路は、利便性や安全性の

急激な環境変化があった場合は、臨機応変に対応し、安心・安全な財政運営に努める。

や、弱い立場の人に優しい施策。教育を通しての人口づくり、人口の増加が望めるまちづくりをしていく。

健康福祉課長

母子保健の充実や乳幼児医療費の助成、保育料の無料化、また学校教育の充実などの子育て支援対策が成果を上げている。

教育長

小学校に、24年度にすべての普通教室に扇風機を設置する予定である。

学校生活支援員を24年度は16名、東西幼稚園に



わくわくドキドキ 入園式(西幼稚園)

改善効果のある工事を行う。

幹線道路は、浜中バイパス整備事業が用地買収に入っており、事業が本格化してきた。

229号線殿迫地区の東側への延伸計画、及び事業化に向けて、前向きに進めていく。

岩村から鴨方町深田方面への町道は、平成24年度から現地調査に入り、早急に整備を進める。

河川やため池の整備は、緊急性の高いものから順次、改修整備を進める。

3名の生活支援員を配置。

総務課長

一般会計の基金残高は減少した。今後、公共下水道整備事業を継続的に実施し、開発基金を財源にする予定である。

財政調整基金は突発的な財政需要に対応していくため、可能な限り現在残高を維持、積み増す方向。

特定目的基金は、各基

金条例の設置目的を遵守した上で、必要な場合は取り崩す。

起債の方針は、今まで同様、必要な場合は交付税措置のある起債を借り入れる。

一般会計の起債残高は、大規模プロジェクトに係る起債や臨時財政対策債の発行で、増加している。普通債は減少していく見込みである。

新入生歓迎会

グリーンクレスト北分館

北分館は、全体で12世帯あります。そのうち、16世帯の21人が子供の会の会員です。

最近、団地内で子供が遊ぶ姿を見かけることが少なくなりました。

今年度は、2人の新会員を迎え、4月21日新入生の歓迎会を開催しました。

楽しいイベントを・・・どんな内容を子供らは喜んでくれるのか・・・と思案ばかりでしたが、案ずるより産むがやすし、子供たちは活発ですぐにうちとけてくれました。まず、新入生の紹介をし、登校班ごとに分れました。

ゲームも積極的に参加してくれ、ハンカチおとしでは、鬼のおとしたハンカチに気づいた子が鬼

を追っかけたり、あめ玉じゃんけんで勝ち進んだ子供が手一杯のあめ玉を得意げに自慢したり、輪投げゲームでは、思い思いの景品めがけて輪投げを投げ、商品ゲットしたりと楽しいひと時を過ごしました。

子供達は遊びの天才です。最後に感想を聞いたら、口をそろえて「楽しかった♪」と言ってくれましたので、何とか役目を果たせました。

1年間役員として、未熟ですが、子供たちの為に頑張つていきます。皆様、ご理解よろしくお願いたします。

最後になりましたが、日頃より防犯パトロールにご協力をいただいている方々、心から感謝申し上げます。



《第68号》

平成24年5月1日 発行

発行/岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あしがき

例年になく遅い春の訪れでしたが、早や青葉若葉の季節です。

1月、3月議会の状況をお届けします。

3月議会は、1議案否決、2議案撤回と荒れ模様でした。本町議会史上初めてかも知れません。議会の議論が活性化している証とも思います。

苦心の編集作業。限られたページ数の中でしっかりお伝えできたかどうか。ご意見、ご感想等お寄せ下さい。



(仁科)

編集委員

委員長: 眞野博文 副委員長: 小野光三 委員: 岡村咲津紀 委員: 仁科英磨